

矢田さんを囲んで

勉強会

7月11日(土) 13:30~16:00

私達が昨年度の終わりに到達した「本人に何処までも寄り添う相談員制度の確立」という考え方は、原理的に言えば「究極のセーフティネット」であり、ひきこもり問題の最終的な到達点でもあります。障害者問題もホームレスの問題も生活保護の問題もDVの問題も認知症の問題も自殺の問題も個々バラバラにあるのではなく、ひきこもり問題の変奏曲でもあると思われれます。それぞれの問題は生じた場所と状況が異なり、別の問題であるかのように見えますが、個々人の孤立の危険性を如何に阻止するかにかかっています。

今年度から、障害者問題に詳しい矢田さんが私達の活動に関心を持ってくださり、4月から遠いところを頻りに参加して下さることになりました。矢田さんのその知識と経験の確かさは、岡山の会でもよく承知して来しました。私達の活動の新しい局面に大きな力になって下さることと思います。皆さん、私達も矢田さんと共にしっかりと勉強して、新しい局面に対処していきましょう。

楽しかったよ！お食事会

&カラオケ

この幸福感は食事会によってもたらされた。私は明日への希望を見出した。食べることは生きることだと感じた。

脳幹を震わす興奮、それは若者達のハジけたりリズムによってもたらされた。私はすっかり青春を取り戻した。

人生の悲哀が籠められた演歌に若者さえも涙した。様々な歌声が炸裂し、ストレスを吹き飛ばした。

きびの会にエールを送ろう。ありがとう。

若者から私のような末期高齢者までが一つになって楽しめたステキなお食事会とカラオケの会でした。また、お会いしましょう。

イベントレポート

にぎわい市 焼きそばづくり

今年も春と秋恒例のソシオ一番街のフリーマーケット&にぎわい市が5月17日に開かれ、われら津山きびの会は、アルネ東入口前広場で焼きそばの実演販売をメインにした屋台を展開しました。会員らメンバー16人が参加。焼きそばのほかにパインケーキやコーヒー、マリーゴールドや皇帝ダリアの苗、赤そら豆の販売も行いました。

当日は日曜日。恒例のイベントとあって、開会(午前10時)前から大勢の家族連れが訪れ、文字通り「にぎわい」を醸し出していました。

連続して毎回(数年)参加(私自身4回目?)しているイベントとあって、われら会員は皆、手慣れたもの。それぞれ持ち場を完璧にこなし、お客さんとのコミュニケーションを交わしたのです。結果は焼きそばの250食、パインケーキ53個など用意したほとんどが完売したということです。例会などで会計報告があったと思いますが、総売り上げ7万8100円、材料費・諸経費2万8764円、差し引き収入(利益)は4万9336円でした。

しかし例年より利益率が悪かった(?)のではと思いますが、原因の大きな一つはキャベツの高騰にあります。農林水産省の調査によると、キャベツの全国平均価格は3月から高値で推移。5月18日ごろまで1キロ318円で平年の171%でした。

何はともあれ、皆さんの力の結集が成功を導いたと考えます。本当にお疲れ様でした。

